



地域気象・大気拡散の基礎

(特非) 化学物質による大気汚染から健康を守る会

空気中の化学物質から健康を守るための環境調査と対策及び市民への啓蒙普及活動

身近な製品からの空気汚染実態の
連続観察結果と方法の
有用性・必要性を学会等で討論啓発

1,000人

当会独自又は他の市民団体との
学習会、講演、機関誌、
行政パブコム応募、新聞、ネット掲載

20件

活動の全体目標に
対する達成度

20%

一般助成

1年目

調査研究

課題

人工有機化合物が身近な環境に広がり、使用が適切でないため環境の異常と健康不調を訴える国民が増えており、その被害原因を特定し、予防対策と救済対策が必要である。

活動内容

問題が差し迫った身近なイソシアネート汚染について連続測定及び文献資料で調査した結果と方法の有効性を日本環境化学会、日本臨床医学会、化学物質過敏症支援センター、土浦まちづくり市民の会、高木仁三郎市民科学基金、白川病院農薬の害を減らす勉強会、茨城医療福祉協、常陽新聞及び当会その他で啓発の講演または文書やネット発信によって3,000人以上に発表啓発した。その課題で行政のパブコム3件にも応募した。



手のひらサイズ
TVOC計セミナー

今後の課題

①本年度導入した測定器を使用して地形、時間、発生源からの位置、発生源種類などとVOC(揮発性有機化合物)伝播を調査する。②VOC濃度変動、毒性VOC濃度の体調影響の個人差を調べる。③簡易クロマトグラフパターンを特徴付ける。

成果と工夫したポイント



成果

イソシアネートなど有害汚染状況への理解が6件に浸透した。市民提唱で適切な柔軟剤、建築・土木材を選択し有害発生を10件減らした。10件が有害物質による症状を知り環境を改善し適切な医療を受けた。

工夫

新たに計画したごく軽量で秒速で連続記録できる測定器によるTVOC(総揮発性有機化合物)測定と体調の連続記録実験に着手した。